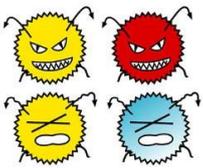




放射能のついで 震災がれきの受け入れに 反対しています

今、和歌山市で東日本大震災の瓦礫を受け入れるという決議がなされています。
「被災地だけに押し付けてはいけない。」「日本人みんなで痛みを分かちあおう。」
という皆様のあたたかい気持ち、よくわかります。
でも、震災がれきは政府・報道の言うように「安全」なものではありません。
子どもたちを絶対に被ばくさせたくありません！子どもたちを放射能から守りま
しょう！！



① 東北の瓦礫は現実には放射能に汚染されています！

昨年の環境省のデータでは、宮城県・岩手県の一般
廃棄物焼却施設における焼却灰から、仙台市で
2,581 ベクレル/kg、一関市で 30,000 ベクレル/kg
など高濃度の放射性セシウム濃度が検出されてい
ます。

←原子力施設内では、震災前も今現在も 100 ベクレ
ル/kg 以上のものは低レベル放射性物質としてドラ
ム缶に詰められ原発敷地内の施設で厳重に保管さ
れています。

一歩外に出ると 8000 ベクレル/kg まで埋め立て
OK なのです。



最終処分場（埋立処分場）の浸出水処理装置は放射性物質を除去できないので、
汚染された排水が海や川にそのまま流されます。実際に柏市の最終処分場（同市布施）で、
浸出水と放流水から放射性セシウムが検出され、放流を停止し施設内で保管されています。

② 今の放射能の測定方法がいい加減です！

今、瓦礫の周りの空間線量を測って、安全だと言われていますが、問題は、どの
くらい放射性物質が瓦礫にしみこんでいるかなのです。
焼却灰からは現実には放射性セシウムが出ています(①)





③ バグフィルターでは放射性セシウムをとれません！

ダイオキシンを取るためのバグフィルターがセシウムも 99.9%取ることができるという環境省の説明が、**実証データのないウソ**だったということが東京新聞にスクープされました。ナノレベルの放射性セシウムは、バグフィルターを通り抜けてしまうのです。実際に試験焼却が実施された静岡県島田市では**40%もの放射性セシウムが空気中に放出された**という結果が出ています。



瓦礫にはヒ素やアスベスト、PCB 等の有害物質が含まれていることも明らかになっています。

阪神大震災時に発生したガレキの焼却後、大気中のアスベストの

濃度が **50 倍**になったという報告があります



④ 瓦礫を受入れ・焼却している東京では風下で空間線量があがっています！

東京では焼却炉の風下の空間の放射線量が瓦礫焼却後 3 倍にあがったという報告があります。報道されていませんが、子どもの甲状腺異常など現実に被害も出ています。

瓦礫をもやせば、**和歌山は確実に放射能に汚染されてしまいます。**



⑤ 広域処理をしなければ被災地が困るという報道は一方的です！

広域処理の瓦礫の量は、震災瓦礫の**全体の 2 割**にすぎません。被災地で安全に処理できるようにすれば、現地で雇用も生まれます。瓦礫を使った**防潮堤**の提案などもあります。被災者が一番困っているのは「仕事がない」ことなのです。

⑥ 瓦礫ではなく、避難者を受入れてください！

瓦礫を広域処理すると、受け入れ自治体に交付金が下り、産廃業者・運搬業者がもうかります。でも、放射能に汚染された地域からの避難者を受入れればお金がかかります。だから避難者受入れより瓦礫受入れが進められようとしています。 **「お金より命」を大事にしてください！**



制作：放射能から命を守りたい集い in 和歌山

新田育子(福島からの自主避難者)

湯浅友美

<http://savealivingthingfor.blog.fc2.com/>

savealivingthing@gmail.com

